

全大教東北地区協議会単代・総会(6/1)

多忙化と現場の混乱が共通課題

人員削減、事務部一元化、年俸制拡大等

執行委員長 片山知史さん



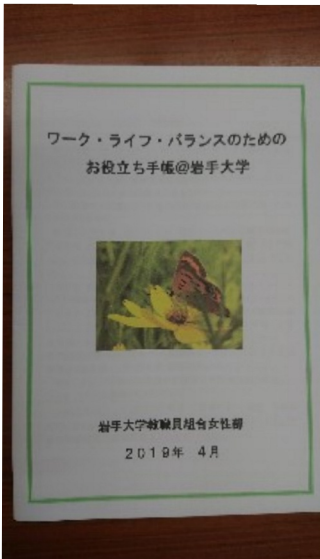
東北6県から集まりました

6月1日(土)、東北職組書記局において、東北地区単組代表者会議が開かれ、弘前大、秋田大、山形大、盛岡大、福島大から出席がありました。

各大学からの現況報告においては、人員削減、事務部一元化、年俸制拡大等、多忙化と現場の混乱が共通していることがわかりました。また、東北大学に

おける無期転換逃れの固執ぶりは、相変わらず際立っていました。

2019年4月に、岩手大学職員組合女性部が「ワーク・ライフ・バランスのためのお役立ち手帳@岩手大学」を発行しました。



制度の概要をわかりやすくまとめたお役立ち手帳

このように整理されたものが、各大学においても組合が主導して作られるとよいでしょう。

看護師の労働環境要望アンケート(病院支部)

「年休取得ができない」「夜間看護手当が安い」

650余名から回答

病院支部では、今年3月に東北大学病院の看護師全員(1176名)に対し、労働環境要望アンケートを行いました。

病院支部では、看護

2019年度東北地区職種別懇談会
 日時：10月26日(土) 13時～
 場所：多元研
 東北6県から仲間が集まります
 ぜひご参加ください

師の任期付き採用をなくしたり、産前休暇を6週間から8週間に延長させてきました。しかし、年休取得ができないこと、夜勤スタッフの負担が増していること、他病院より夜間看護手当が安いことなど、多くの問題が残されています。

そこで、有給休暇の取得状況、給与や超過勤務手当、夜間看護手当など、労働環境全般

にわたる要望や意見をアンケートしました。5月に集約しましたが、なんと650余名の回答がありました。看護師の皆さんの労働条件に対する不満が大きいことが示されたと思われま

現在、集計作業を行っており、その結果を基に当局への要求をまとめ、さらには組織拡大に結びつけていく予定です。(病院支部)